

「震災対策」「議会活性化」特別委員会を設置

■特別委員会

〔任期：平成23年6月17日～平成25年6月16日〕
委員会条例4条の規定による

議会活性化特別委員会

◎西村将伸 宮地葉子 宮川徳光
○山崎正男 矢野昭三 池内弘道
小松孝年 藤本岩義
下村勝幸 濱村 博
亀沢徳昭 小永正裕

震災対策特別委員会

◎下村勝幸 宮地葉子 宮川徳光
○藤本岩義 矢野昭三 池内弘道
小松孝年 山崎正男
西村将伸 明神照男
亀沢徳昭 森 治史

黒潮町の防災対策について、黒潮町議会では、町民の命と財産を守るため、議論を重ねて来ましたが、

6月議会の一般質問でも、議員10人中9人までもが近い将来に発生するであろう、東海・東

南海地震を想定した質問を執行部に行いました。そうした中、先の東日本大震災をうけ、今想定している防災対策について、執行部に任せるだけではなく、

議員としても再検討すべく、この6月定例議会に「黒潮町震災対策特別委員会」の設置を提案し、承認されました。

これにより、早急に議員自らが現地に足を運んで確認や調査を行い、対策の見直しを行う予定にしています。

この取組みのひとつとして、早急に宮城県の我々の地形に良く似た場所を、犠牲になられた方々の思いを無にしないために視察を行う予定で準備をしております。被災者の皆さまのご迷惑にならないように十分に配慮しながら、町のためにありのままの現状をつぶさに見、そして聴き、すぐに対応していきたいと考えています。

私どもは、今回のような、千年に一度のような大災害が

発生しても皆の命を守りたい、守らねばならないという信念のもとに行動をしております。

そこで、町民の皆さんにお願いがあります。我々の直下で起きるであろう地震は、今回の東日本大震災よりはるかに大きい震度7の烈震が1分以上続き、多くの建物が倒壊したり、部屋の中にガラスが散乱したり、ドアがねじれて開かなくなることが想定されます。そこで、寝室に早急に、最低限以下のものをご用意したいと考えています。

- ① 靴：足をけがせずに出るため
 - ② 懐中電灯：夜間脱出のため
 - ③ ラジオ：正確な情報を手取るため
 - ④ バール：ドアこじ開け用
- どうか、一人の犠牲者も出さ

ないために、大至急の準備を重ねてお願いいたします。

黒潮町震災対策特別委員長

下村 勝幸

※7月9日から12日まで視察に行きました。詳細は9月の広報で報告させて頂きます。

